

初期仏教・龍樹・比較思想の研究を中心に  
仏教学の新しい地平を切り拓く



# 三枝充恵著作集

全8巻

法蔵館

# 刊行のことば

三枝充惠博士は、学生時代、哲学志向であったが、宮本正尊博士の影響下に龍樹の「中論」に関心をもち、龍樹の研究とともに初期仏教の研究を専攻することとなった。また、東大助手時代に二年八カ月のドイツ留学を経験し、カントの「純粹理性批判」などを読み、思索しながら、龍樹を読み、論ずるという状況のなかから、比較思想という新しい分野の先駆けを必然的に担うこととなった。以来、五十有余年にわたって、龍樹、初期仏教を中心とした仏教学および比較思想を専門として研究に没頭された。

本著作集は、これらの中から著書十三点と単行本未収録の論文十数点を精選して、全八巻に収めたものである。

三枝博士は、一貫して鋭利な問題意識のもとに、豊富な資料を蒐集し、分析・検討・思索を重ね、これまでの偏見や誤解を指摘し、常に新しい見解・視点を提示してきた。初期仏教の研究は、大著「初期仏教の思想」に結実し、「縁起の思想」では、仏教学の新しい地平を切り拓いた。また、中村元博士の招きで東大の「比較思想」の講座を担当し、その講義をまとめた『東洋思想と西洋思想—比較思想序論』で比較思想の分野で始めて学位を取得したことも、特筆すべきことである。

初期仏教・龍樹(空・縁起)・比較思想にわたって縦横に論を展開してきた三枝博士の著作群は、仏教・比較思想の研究者にとつて、看過することの出来ない必読の文献であり、新たに仏教の勉強を志す読者にとつても格好のテキストである。混沌とした難しい時代伏状を生き抜く指針として、本著作集が多く読者に受け入れられることを期待したい。

法蔵館

## 推薦のことば

### 前田惠學

文化功労者・愛知学院大学名誉教授

#### 間断なくつづけられた思索の研究成果

今回、同期の畏友三枝充惠博士が長年の研究を八巻の著作集にまとめて出版されるという。私もまた目下自分の著作集を刊行しはじめたので、誠に同慶の至りである。

氏の研究は、龍樹・中論にはじまり、次に初期仏教、さらに比較思想の三分野に大別できるようである。絶え間なく思索をつづけ、成果をつぎつぎと産み出され、いつも感嘆して仰いできた。龍樹・中論の研究については、宮本正尊先生の中道思想の研究を発展させた延長上に、氏の姿を見る。第一巻「仏教概説」も、宮本先生の未完に終わった講義の遺志の継承のように思われて楽しい。

初期仏教の研究では、資料論が関心事であった。三枝氏の「初期仏教の思想」について、私は原始仏教を研究する人に、拙著「原始仏教聖典の成立史研究」との二書を研究の出発点とするように学生指導をしてきたものである。比較思想の分野は、何と言つても、中村元先生に傾倒せられたところによる。学位論文も、この領域に属し、恐らくは、東大印哲人学以前からの本来の萌芽が、花を咲かせたもののように思われる。

感ずるままに、蕪辞を連ねて、ここに三枝充惠博士の著作集をお薦めしたい。

## 全巻内容・配本順

### 第一巻 仏教概説

(第1回配本)

「仏教入門」／「インド仏教思想史」／「インド思想\*」  
／「仏教思想\*」

### 第二巻 初期仏教の思想

(第3回配本)

「初期仏教の思想」

### 第三巻 バウツダ

(第5回配本)

「バウツダ」／「ブツダ」／「時代区分とブツダ観」／「ブツダ総論\*」／「釈迦\*」／「釈尊と人間形成\*」

### 第四巻 縁起の思想

(第7回配本)

「縁起の思想」／「サンガ」／「初期仏教聖典について」  
／「般若経の真理」

### 第五巻 龍樹

(第4回配本)

「龍樹」／「中論における法\*」／「ヴァスバンドゥ」

### 第六巻 仏教の宗教観・人間観

(第6回配本)

「仏教の宗教観」／「人間その価値と存在」／「仏教の宗教観—仏心とは大慈悲これなり—\*」／「仏教の人間観—ともにこれ凡夫のみ—\*」

### 第七巻 比較思想論Ⅰ

(第2回配本)

「比較思想序論」／「東と西の思想」(学位論文)

### 第八巻 比較思想論Ⅱ

(最終回配本)

「仏教と西洋思想」／「西洋に及ぼした東洋思想の影響—インド思想\*」／「世界思想史における仏教\*」／「アジアにおける西洋思想と仏教\*」／「聖と俗に関する比較思想\*」／「著作目録」(著書・共著・訳書・論文・編著・監修)

(\*は単行本未収録論文)

# 峰島旭雄

早稲田大学名誉教授・比較思想学会前会長

## 研究に必須前提の比較思想論

故中村元博士が三十年前に比較思想学会を設立されたとき、三枝充恵博士は中村先生のこの分野での一番弟子ということで、学会設立発起人の一人であった。

このたび『三枝充恵著作集』が刊行されることになったのは、同学のものにとつて、特に比較思想の若い研究者にとつて、喜ばしいことであり、得難い指針を提供することになる。比較思想研究に携わる者は東と西の両方の思想を扱うという骨の折れる研究を必要とするのであるが、私はかねがね東ならば東、西ならば西のいずれかの思想に徹していなければならぬと考えている。三枝博士は、何といつても仏教の徹底した研究のうえに、比較思想、「仏教と西洋思想」等々の比較思想プロバのテーマを解明して見せた。ところで、現時点での比較思想学は「比較を越えて」の段階にまで展開していると思う。中村先生の比較思想学会も二〇〇三年にすでに三十年を閲した。しかし「比較を越えた」比較の段階にあるこの学問分野において、何か「ものを言う」ためにも、三枝博士の一連の右のごとき比較思想論をまず学び取ることが必須の前提であると考えられる。その意味でこの時期を得た『三枝充恵著作集』の刊行を喜び、斬学の展開に一つのエポックをつくり出すものであると確信し、あえて江湖に推すゆえんである。

# 藤田宏達

北海道大学名誉教授

## 宗教・哲学の論述に強靱な思索

畏友三枝充恵博士は異色の仏教学者である。このたびその著作集が刊行されることは、傘寿を迎えた著者に親しい者として、欣快にたえない。著者の業績はまことに多彩・多作であるが、この著作集にはその主要な物が収められており、これによって半世紀にわたる学的軌跡をたどることができよう。

三枝博士は、仏教学へ傾倒してから、それまで培ってきた西洋哲学の視点より、仏教思想の解明と探求に専念された。初めは龍樹の『中論』や『大智度論』の考究に沈潜し、ついで初期仏教に廻り、また比較思想の分野へと研究対象は広まり、啓蒙書を含めて、縦横に健筆をふるわれてきた。

論述に当たっては、文献学に配慮しつつ、思想研究を主とし、宗教・哲学にかかわる強靱な思索とユニークな論調をもって、問題点を剔決し、批判し、課題を提起して、他に類を見ない成果を挙げられた。

本著作集は、こうした点で、単に仏教学ばかりでなく、広く宗教・哲学・思想に関心をもつ人々にとつても、きわめて有用となるに違いない。江湖に推薦する所以である。

# 著者略歴

(三枝充恵・さいぐさ みつよし)

大正十二年

四月十八日

開業医三枝忠作・亀和の三男として、静岡市に出生。静岡市立城内尋常小学校、県立静岡中学校卒業

昭和十七年四月

第一高等学校文科乙類入学  
(昭和十九年九月卒業)

昭和十八年十二月

第一回学徒出陣で陸軍に臨時応召  
(昭和二十年九月)

昭和二十二年四月

東京大学文学部哲学科入学

昭和二十五年三月

同卒業

昭和二十五年四月

東京大学大学院入学(特別製学生)

昭和三十年四月

同満期終了(以上すべて旧制)

昭和三十三年六月

東京大学文学部助手(昭和三十三年三月)

昭和三十三年八月

日本印度学仏教学会より第一回学会賞  
西ドイツのアレクサンダー・フォン・フン  
ボルト奨学生として、ミュンヘン大学に留学  
(昭和三十七年三月)

昭和三十七年二月

同 Dr. phil. を受けて卒業

昭和三十七年四月

共立薬科大学教養部助教  
(昭和三十八年三月)

昭和三十九年四月

國學院大学文学部哲学科助教

昭和四十二年四月

同教授(昭和五十年三月)

昭和四十六年五月

文学博士号取得(國學院大学乙文第十六号)

昭和四十六年十一月

毎日新聞社より第二十五回毎日学術奨励金

昭和五十年四月

筑波大学哲学思想学系教授(宗教学・比較思想学)

昭和六十二年三月

同定年退官(同十月筑波大学名誉教授)

昭和六十二年四月

日本大学文理学部哲学科教授

平成五年四月

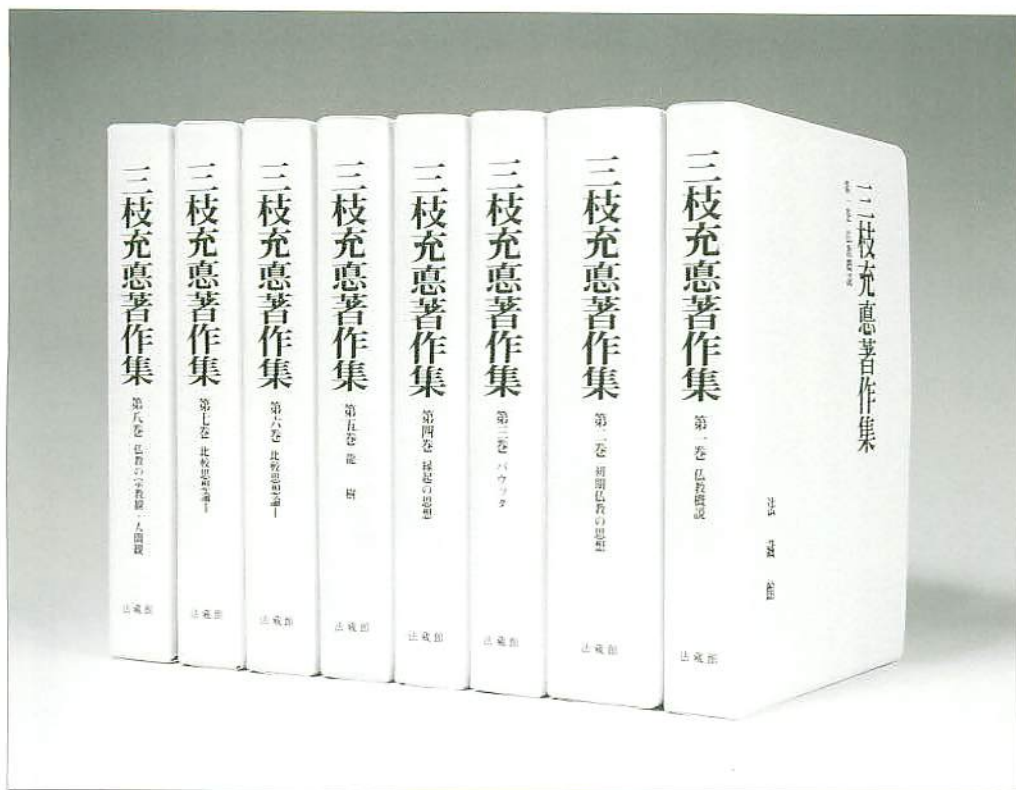
同定年退官、非常勤講師(現在)

この間、東京大学、東京教育大学、名古屋大学、信州大学、明治大学、中央大学、聖心女子大学などにおいて非常勤講師。主な所属学会は、日本印度学仏教学会(理事、評議員)、比較思想学会(理事、評議員)、日本宗教学会(理事、評議員)、仏教思想学会(理事、評議員)、哲学会、日本倫理学会、日本仏教学会、筑波大学哲学思想学会など。



# 好評刊行中

二〇〇四年一月刊行開始(隔月刊)



## 【特色】

- \* 著者の五十点あまりの著書と単行本未収録の論文から、仏教学・比較思想に関するものを中心に精選して収録。
- \* 各巻に詳細な索引を付す。
- \* 詳細な著作目録を第八巻に収めた。

## 【読者対象】

- \* 仏教学・比較思想・宗教学・哲学・思想史の研究者・研究機関
- \* 大学研究室・大学図書館・公共図書館・寺院ほか
- \* 新たに仏教の勉強を志す読者

## 【体裁】

- \* A5判、上製函入、本文9ポ一段組、付索引
- \* 各巻平均四七〇頁

## 【定価】

- \* 全8巻 セット定価本体一〇、〇〇〇円(税別)
- \* 第一巻・第三巻・第八巻  
各本体一三、〇〇〇円(税別)
- \* 第二巻  
本体一九、〇〇〇円(税別)

## 法藏館

〒六〇〇八一五三 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 〇七五二三四二一五六五六 FAX 〇七五二一〇四五六  
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp  
表示価格は税別です

0401304000

取扱書店

ご住所 〒

ご氏名

TEL

法藏館刊  
三枝充恵著作集  
[全8巻]

第( )巻( )冊  
全巻( )セット  
を申し込みます。

申込書